

令和5年12月15日（金）

質問・意見等		回答
1	部活動で指導したい教員も多くいると思う。教員へアンケートなどは取ったのか。	令和5年7月に板橋区立中学校部活動アンケート調査を実施し、現在集計作業を行っている。
2	地域移行後の活動場所は、学校施設がよいのではないか。	国が策定したガイドライン等でも、活動場所は学校施設を想定している。ただ、現行の部活動がある状況では空いている場所がないため、部活動を合同で行うなどの整理をした上で、活動場所を確保していく必要がある。 また、体育館はセキュリティを分けることが比較的可能であるが、校舎内の教室はセキュリティを分けることが難しいところが多く、これからの検討課題になっていく。そのような課題などを解決し、活動場所を確保していくことになる。
3	（音楽や演劇の講師を派遣する会社を運営している） 講師にどこまでの専門性を求めるかによるが、音楽・演劇の関係者は土日が演奏会等で派遣は難しい。平日の方が講師派遣はしやすい。土日に派遣する場合は講師が変わることがある（指導スタイルが似た講師をペアにして派遣はできる）。	区としては平日の指導者確保を課題と認識していたため、平日の指導者が確保できるという貴重なご意見に感謝する。区の第一次目標としては、「土日における部活動の教員に頼らない指導体制の構築」をめざしている。
4	伝統工芸（水引）をやっているが、大学生や教員が後継者となってもらえるよう育てたいと考えている。そこから、中学生に広げていきたい。	重点戦略3「地域展開の環境整備」や共通項目 取組2「地域人材を活用した地域移行への枠組みの検討」で言っていることに合致しており、伝統工芸を新たな地域クラブ活動とするのは可能であると思う。どのように中学生に伝えていくか、サポートしていきたい。 また、部活動を地域移行する理由には、教員の多忙さもある。兼職兼業制度は整えていくが、教員が指導者となることを前提として進めることは難しい。
5	中学生と高齢者の相性はいいと思う。子どもに安心感を与えられる高齢者に指導者をお願いしていくのはどうか。	子どもたちに安心感を与えるということは、とても重要な視点である。現行部活動は教員が顧問として実施しているため、保護者も安心感があるということがアンケート調査でわかっている。部活動地域移行後も生徒、保護者が安心感をもって参加してもらうための人材発掘・研修制度などを検討していく。

6	部活動は内申書に反映される。地域クラブであると内申書に反映されないのではないか。	高校側が入試における成績の基準等を設けており、そこに関与できないところはある。しかし、生徒の頑張りは学校内の活動であろうが、学校外の活動であろうが、対等に扱われて、評価されるということは重要であるため、調査書に部活動以外のことで記入したいことを生徒、保護者から学校が聞き取り、反映されるようにしている。
7	部活動がなくなると生徒の大会参加はどうなるのか。中学校体育連盟の大会に参加できるのか。	東京都中学校体育連盟が主催する大会には、今年度より地域クラブも参加可となっている。ただ、現状としては種目によって参加の条件等が異なっている。
8	指導者への研修は、どのように実施していくのか。	重点戦略1「行政による地域クラブの推進」、重点戦略2「地域連携の活用」においては、区が運営団体・実施主体になるため指導や研修の実施ができる。しかし、重点戦略3「地域展開の環境整備」における民間の地域クラブには、運営団体・実施主体が区ではないことから、直接の指導はできないが、区としてのコンセプトや価値観、運営方針は共有し、尊重を要請していきたいと考えている。
9	地域移行の取組は、高校の部活動でも実施されているのか。	都立高校の7校で、教員の働き方改革の面から部活動改革の取組を実施しているとは聞いている。
10	大会に参加し、好成績をめざすという活動ではなく、楽しむことが目的の活動でもいいのではないか。	部活動の地域移行の重要な部分は、子どもたちが主体的に活動することであることから、中学生が自分に合った種目・分野や活動方針を選べるような改革にしていきたいと考えている。
11	重点戦略1から3を将来的に統合していくことはあるのか。	理想としては重点戦略3に集約していくことであるが、そのための費用措置等が行われる目途がたっていない。今後、令和8年度以降の方向性等について、国の方針が出ると思われるため、それらを踏まえ、検討していくことになる。

令和5年12月19日（火）

質問・意見等		回答
1	部活動指導員は、普段どのような仕事をしているのか。 また、指導員の報酬はいくらなのか。	社会人として日中は働き、夕方・土日に指導員として働いている方や教員OBの方などがある。報酬については、部活動指導員は1時間あたり1,614円、部活動指導補助員（有償ボランティア）は1回あたり3,000円となっている。今後、単価の見直しは検討していく。
2	部活動を地域移行した場合、指導者の色が出てくると思うが、子どもが自分に合うと思う指導者を選ぶことはできるのか。 （楽しみたい人、大会やコンクール等で優秀な成績を収めることをめざしている人など）	現行の部活動は学校単位であることから、指導者を選ぶことは難しい。 しかし、地域移行後は学校単位ではなくなるため、子どもが自分に合った活動方針（勝ちたい、楽しみたい）や指導者がいるクラブを選ぶことができる。
3	地域移行するのは決定事項であって、移行後は部活動はなくなるのか。	国の方向性としては、そのとおりである。
4	最終的に地域移行するのであれば、地域連携に力を入れる必要はないのではないか。地域クラブのモデルを示すことがいいのではないのか。	早急に地域移行を進めていくことは、現時点で地域における受入態勢等が整っていないこともあり、なかなか進まないことが想定されるため、過渡期では地域連携の手段も併用して改革を推進していく。 また、地域クラブのモデルを示していけるよう、今年度、板橋区教育委員会が実施主体となる「いたばし地域クラブ」を立ち上げ、課題等を整理している。
5	指導者の資質として、子どもと多く触れ合ってきたという経験・機会が大切だと思う。書類や面接のみでは、指導者の資質はわからないのではないか。	先日参加した東京都の研修会では、指導員のスキルとして3年以上の指導経験を求めている。指導者としての資質を有する人材を確保していくためにも、選任方法や研修等の実施については、引き続き検討していく。

6	<p>説明資料の5ページ「部活動の地域移行とは…」に記載されている運営団体・実施主体例の中に大学があって、高校が入っていないが、想定されていないのか。</p>	<p>この図は、運営団体・実施主体になりうる団体を国の例示をもとに作成しており、全ての団体等を記載していない。現在、いたばし地域クラブのeスポーツクラブでは、区内高校の教員等に指導をお願いしており、その高校の在校生との交流もあることから、高校も運営団体・実施主体になり得る。</p>
7	<p>現在実施しているモデル事業のいたばし地域クラブで、問題点や課題等があったか。</p>	<p>活動場所によって参加しにくい生徒が出ているという認識はある。そのため、いたばし地域クラブの新たなクラブの創設や合同部活動等の検討をする際には、活動場所にも配慮していく必要があると考えている。</p>
8	<p>大学生が部活動の指導員となり、問題が起きたことがあった。地域移行後の責任の所在は、どうなるのか。</p>	<p>地域移行後の地域クラブ活動では、運営団体・実施主体である各団体等が責任者になってくる。ただ、重点戦略3の取組3「受皿となる団体の認証制度」を検討し、行政が民間の地域クラブに関わるような仕組みを構築していきたいと考えている。</p>
9	<p>民間の地域クラブは、まだ存在していないのか。 地域クラブが区の傘下に入れば、区の責任・指導のもと活動ができるのではないか。</p>	<p>既に地域で中学生を受け入れ、活動している地域クラブは存在している。（例えば、野球クラブなど）民間の多くの地域クラブを区が取りまとめていくことは困難だとは思いますが、それを可能にする制度設計ができるかどうかについても今後検討していきたいと思う。</p>